

集合住宅の災害時の安全対策チェックリスト

チェック



家具の転倒防止対策

高層階は低層階に比べて地震の揺れが大きいです。

- 家具を低くしたり、地震で家具が倒れないように転倒防止対策をしましょう。

※壁に穴を開けて固定する場合は、許可が必要な場合があるため、管理人に相談してください。

チェック



寝室等の安全対策

- ベッドや布団の周りに大きな家具を置かないようにしましょう。
- 家具類の上にはなるべく物を置かないようにしましょう。

チェック



廊下や階段などの共有スペースに物を置かない

集合住宅の廊下や階段は居住者全員の避難経路になります。

- いざという時すぐ避難できるよう、障害物を置かないようにしましょう。

チェック



出入口の確保を!

- いざという時安全にすぐに避難できるよう、玄関やドアの付近、ベランダに物を置かないようにしましょう。



チェック
してみよう



チェック



まずは身の安全を確保しましょう

エレベーターが停止すると、高層階から怪我人を搬出することは困難です。

- まずは怪我をしないように、家具の固定やガラスに飛散防止フィルムを張るなどの対策をしましょう。

チェック



買い置きを利用して備蓄をしましょう

- 災害時は物資が不足します。
- エレベーターが停止すると、水や食料等の持ち運びが困難になります。

- 日頃から最低7日分を目安に、水や食料等の備蓄をしましょう。
- トイレ対策や非常持ち出し品の準備もしましょう。



この地区の避難場所は

です

家具の固定方法など家庭内の安全対策については [静岡県地震防災センター](#)

検索